

認識があっても無くても不正は不正

政活費問題を傍聴した市民からの手紙

鶴岡市議会政治倫理

般市民も同じ。

審査会（3月29日）を傍聴した市民から、党市議団に手紙が寄せられました。

その一部を紹介します。

「不正」の認識あったかの質問意味なし

①新政クラブのA議員からは、「不正」という認識があったか？と5人に質問したが、その質問自体、ほとんど意味がないと思った。

不正と認識していたなら、「政治倫理」の問題どころか公金横領で犯罪だ。

認識があっても無くても不正は不正だ。

条例は「不正の疑惑もたれる行為」を禁じている

②新政クラブのB議員からは、「政治倫理条例第3条9項は、『不正の抑止効果』が目的だから、不正の意図が無ければ不正ではない」とあったが、条例にしてはならないと書かれているのは、「不正」そのものでなく、「不正の疑惑がもたれる恐れのある行為」だ。「不正」をしてはならないのは当然で、一

般市民も同じ。議員は、その責務（2条）ゆえに、一般市民よりも更に高い倫理性を求められるのだから、不正と「疑われるようなこと」もしてはならないよ、というのが条例の趣旨だ。

報道も「政務活動費の不適切受給」と報じている。「不適切受給」とは「不正の疑惑を持たれる行為」そのものではないか？

ガソリン代が出ないぐらいで萎縮するなら議員になるな

③B議員が、「運用を厳しくすると政務活動費自体が委縮してしまう懸念」があると発言されたが、ガソリン代が出ないぐらいで萎縮するようなら、初めから議員になどなるなど言いたい。

④5人の審査対象議員の説明は、「確認不足」「認識不足」「もの忘れ」「勘違い」ばかり。そして「不正などということは毛頭考えていない」ということで、「不正の意図はないの

で条例には違反しない」ということでまじめたいのだろうな、と思った。

政務活動費とは市民の税金であることの理解が決定的に欠落していると、改めて感じた。

田中議員の件（懲罰委員会）でも感じたが、少数会派の委員たちは頼もしいと思った。これからも結束して最大会派に挑んでほしい。

産前産後に「助けて」と言える仕組みを

子育て世代の声を聴く会開催

鶴岡市の山王通りにある、町家をリノベーションした複合ショップ「古今COCON」の和室で3月31日、子育て世代の声を聴く会が開かれました。

妊娠は嬉しさの半面、出産に向け不安とすることが多く、出産後は子育てや自分そのものに不安が広がる時期です。

特に、他地域からの移住者には、本市に自分の親戚や知人が居ず、声を聴いてもらえない環境が整っていないため、不安が先行してしまします。

また、出産後一日中、夫以外の人と話す

い。

鶴岡市議会議員政治倫理条例

※第3条9項 議会及び議員の名誉を損なうおそれのある一切の行為を慎み、その職務に

関して不正の疑惑を持たれるおそれのある行為をしないこと。

※第2条 議員は、市民の代表者としての自らの役割を自覚するとともに、法令等を遵守し、市民の信頼に値する倫理観の向上に努めなければならない。

子育てアプリに、行政機関以外の子育て支援関係団体等が、直ぐに探せるよう改良してほしい。」等多くの声が出されました。

坂本市議が市担当課に要望届ける

参加した坂本昌栄議員は、4月4日に市の担当課に要望を届けました。

子育てアプリについては、「アプリ事業者に相談し、子育て支援関係団体へ掲載の許可等ももらい、掲載するなど改善できる点から改善を行う」。

母子手帳の土・日曜日交付は、「交付時に妊婦の健康状況等の話を伺うため、保健師が対応している」との事です。

「事前の電話予約などで土・日曜日の対応が可能ではないか」との提案に対し、検討するとの事で、今後、前向きに改善するよう要望しました。



JCP鶴岡地区HP

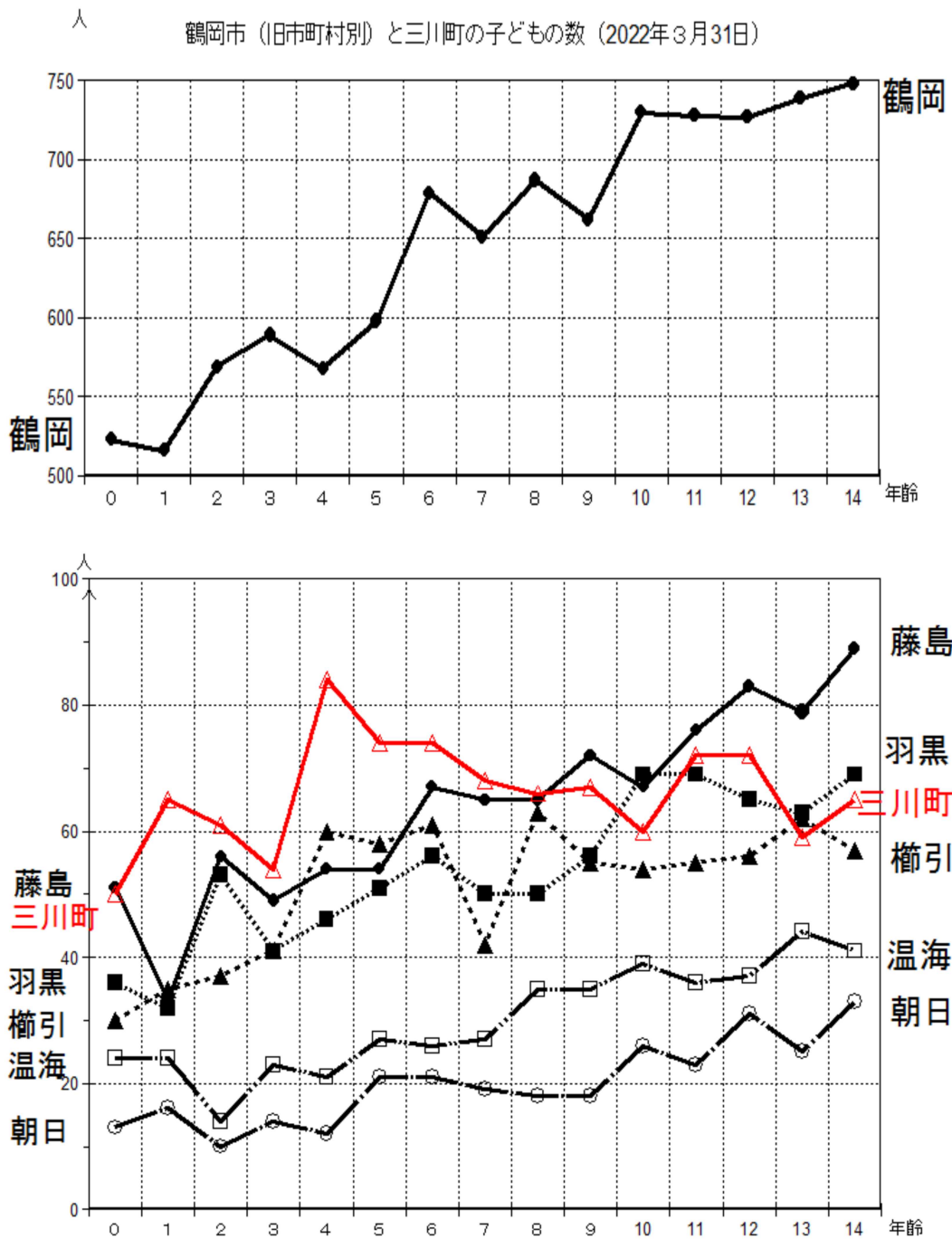
鶴岡市の地域別子どもの数（2022年3月31日）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
鶴岡	男	265	258	298	291	286	278	350	305	341	328	374	360	394	394	413
	女	258	258	271	298	282	320	329	346	346	334	356	368	333	345	335
	計	523	516	569	589	568	598	679	651	687	662	730	728	727	739	748
藤島	男	25	18	23	27	24	31	28	28	34	35	31	41	41	41	43
	女	26	15	33	22	30	23	39	37	31	37	36	35	42	38	46
	計	51	33	56	49	54	54	67	65	65	72	67	76	83	79	89
羽黒	男	23	15	29	23	24	24	32	31	29	27	34	34	34	31	35
	女	13	17	24	18	22	27	24	19	21	29	35	35	31	32	34
	計	36	32	53	41	46	51	56	50	50	56	69	69	65	63	69
櫛引	男	11	24	18	26	37	33	27	17	31	29	33	22	30	26	33
	女	19	11	19	15	23	25	34	25	32	26	21	33	26	36	24
	計	30	35	37	41	60	58	61	42	63	55	54	55	56	62	57
朝日	男	8	12	6	4	5	11	11	9	12	13	14	9	17	15	15
	女	5	4	4	10	7	10	10	10	6	5	12	14	14	10	18
	計	13	16	10	14	12	21	21	19	18	18	26	23	31	25	33
温海	男	13	10	11	11	8	14	16	15	19	15	15	19	17	19	19
	女	11	14	3	12	13	13	10	12	16	20	24	17	20	25	22
	計	24	24	14	23	21	27	26	27	35	35	39	36	37	44	41
合計	男	345	337	385	382	384	391	464	405	466	447	501	485	533	526	558
	女	332	319	354	375	377	418	446	449	452	451	484	502	466	486	479
	計	677	656	739	757	761	809	910	854	918	898	985	987	999	1012	1037

三川町の子どもの数（2022年3月31日）

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳	11歳	12歳	13歳	14歳
三川町	男	30	35	41	27	45	38	41	38	32	37	28	41	39	38	31
	女	20	30	20	27	39	36	33	30	34	30	32	31	33	21	34
	計	50	65	61	54	84	74	74	68	66	67	60	72	72	59	65

鶴岡市（旧市町村別）と三川町の子どもの数（2022年3月31日）



鶴岡市の0歳児677人

昨年度出生最少だった1歳児から21人増える

鶴岡市全体の昨年度出生した0歳児は677人で、これまで最少だった1歳児656人から、21人多くなりま

した。市全体で中学1年生が999人と、初めて1000人を下回り、5年前から800人、昨年から700人を下回る出生数になっています。

三川町は50人、自立施策薄まった影響も指摘

合併しない三川町では、出産祝い金などの施策で、60人〜70人台を維持してきました。

しかし、昨年度の出生数は50人になり、自立の施策が薄まってきた影響も指摘されます。

鶴岡市の施策、県内他自治体よりも遅れ

鶴岡市では、子育て世代に対する応援施策として、第3子以降の0歳から2歳児の保育料無償化や、同3歳から5歳児の副食費無償化、第3子以降の学校給食費無償化など、市独自支援を行ってきました。

しかし、県内の他自治体では、子ども医療費は高校卒業までが28自治体と8割まで広がっています（鶴岡市は中学卒業まで）。

寒河江市や大江町、鮭川村など、学校給食費の完全無償化も広がり、第3子以降の無償化は、鶴岡市や南陽市、天童市の3市のみです。

鶴岡市は、遅れた子育て支援策を一気に高める必要があります。